

3月18日(月)

災害拠点病院として災害時の患者受け入れ訓練を実施しました。

【訓練概要】

設定

バス同士が衝突横転し炎上、付近にいた歩行者等も巻き込み多数傷病者が発生、大阪市大病院へ多数傷病者の受け入れを大阪市消防局が依頼、救急車や他の車両、その他独歩などで多数の傷病者が来院する。(模擬患者29名)

参加者

医師35名/看護師39名/コメディカル・事務40名

研修医60名/医学部学生27名 合計201名

本番当日は、バス同士の衝突事故で、当院へ多数の傷病者が来院するというシナリオに基づき、トリアージを含めた患者受入訓練を行い、関係者約200人が参加し、特殊メイクを施した医学部の学生が傷病者役を演じるなど、臨場感のある中で行われました。

院内では、災害対策本部を立ち上げるとともに、トリアージ後の模擬患者を負傷の程度に応じた治療を実施するなど、災害時における医療活動を実践しながらに訓練しました。

また、今回は傷病者に家族が面会に来る設定や、災害時における地域の医療機関との連携という内容も盛り込まれており実際に相原第2病院にも訓練にご協力いただきました。

訓練の最後には仲谷副院長、溝端救命救急センター長に60点という点数でしたが総評、講評をそれぞれいただき終了させていただきました。

診療時間内での訓練実施でしたが多数の教職員や患者さまにもご協力をいただきトラブル等もなく無事に終了することができました。皆さま、ご協力有難うございました。

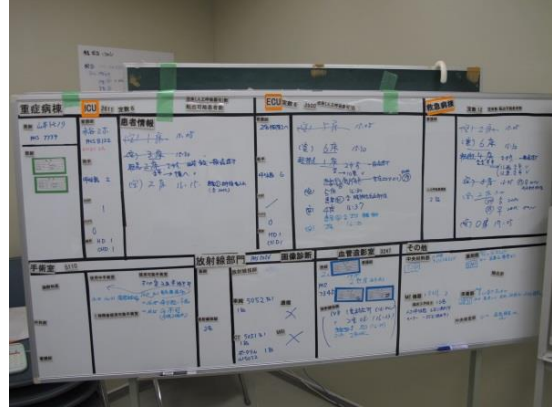
訓練風景



ムラージュ(特殊メイク)を実施



病院玄関に患者が到着



災害対策本部



前進指揮所



トリアージエリア



軽症治療エリア



中等症治療エリア



仮設病棟エリア



重症治療エリア



エリアに搬送中



サテライト薬局・中材